

令和2年度 第4回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 令和3年1月28日(木) 午後2時から3時40分まで
- 2 会 場 中央図書館 2階会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：12名(欠席なし) 傍聴人：なし
事務局：中央図書館長、館長補佐兼庶務担当係長、サービス担当係長、
資料担当係長、推進担当係長、大沼図書館長 計6名
- 4 配布資料
 - ・令和3年1月小平市立図書館職員の異動について(資料No.1)
 - ・小平市立図書館行事等の報告と今後の予定(資料No.2)
- 5 職員の人事異動について(資料No.1)

1月1日付けで、図書館は1名の異動があった。
- 6 議事等
 - (1) 報告事項
 - ① 図書館の運営状況について
 - ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.2)

新型コロナウイルス感染症が拡大してきたため、不特定多数が参加するものは中止、それ以外は、感染症対策を講じながら実施している。おはなし会などは中止とした。展示企画などは開催した。11月28日のステップアップレポート作成支援講座はZoomにより開催した。12月16日には音訳ボランティアの説明会を開催したが、75名の参加があったため、中央図書館と健康センターの2会場を使用して開催した。選考後、1月28日に第1回の音訳講習を実施、第2回から第6回は2月4日から3月9日までで実施予定である。今年度も本の福袋を実施したが、コロナ禍で年末年始の貸出需要が多かった。

今後の予定として、本で子育ておうえんセットを1月23日から開始する。
 - ② 12月市議会定例会について
一般質問では、図書館関連はなかった。
 - ③ ふるさと新聞元旦号展について
4館で開催した。コロナ禍で帰省できない方などから好評だった。
 - ④ 緊急事態宣言(1月8日発令)に伴う図書館の対応について

図書館の開館時間に変更はなし。閲覧時間や席数の制限は継続している。ただし、喜平図書館、上宿図書館に併設の集会室は、夜間の利用を休止している。

(報告事項に関する質疑・応答)

会 長：コロナの関係で本の福袋の開始時期を早めたりすることはあったのか。

事務局：例年通り、年末年始の期間で行った。

会 長：小平市の図書館は元々、本の清掃を行っているが、本の消毒の装置について、利用者や職員からの要望等はないか。

事務局：図書の紫外線消毒器について、利用者からの要望はでていない。色々な機種があるので、他市で導入したものを研究するなど、情報収集を行っている。

委 員：中学校の学校図書館で、消毒器の予算措置があり購入した。図書委員の生徒が返却された本を消毒し、手袋をして本棚に戻している。1回45秒で、一度に8冊程度処理できる。中学校の規模としてはちょうどよい。

事務局：8冊程度は一般的かと思われる。他市の状況を伺ったところでは、密にならない程度に利用されているとのことである。

委 員：大抽選会について、実施の状況はどうだったか。

事務局：事前に抽選会があることを知っていた何組かの親子のほか、児童コーナーにいた人達に声をかけて行った。図書館前の中庭で行ったが、混雑するほどの人数ではなく、時間は30分かからないくらいであった。その場に当選者もいて、当たった子はプレゼントをもらい、はずれた子も3枚券があれば抽選器が回せ、プレゼントをもらって帰ったので、喜んでもらえたようであった。

委 員：岩波書店の雑誌「図書」12月号で、都甲幸治さんが小平市の図書館についての文章を書いている。小平市の図書館は絵本などが充実しているといった内容である。これは、文章にはないが、以前の専門職の司書が蓄積した結果かと思う。

事務局：執筆者の年齢からすると、昭和50年代前半と推測され、以前の仲町図書館が最初の小平市図書館として開館した時期の数年間かと思われる。

委 員：おはなし会は中止されたとのことだが、緊急事態宣言が解除されれば再開されるのか。今までも人数を制限したりしていたと思うが、いつまで中止の状況を続ける予定か。

事務局：前回の緊急事態宣言が解除された後、夏以降に試行で数回実施したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休止している。感染状況が緩和された時に万全の対策を整え実施したいと考えている。

会 長：来館者の割合だが、子ども連れの利用者は多いか。

事務局：どの年代も以前より減っている感じはする。滞在時間は現状1時間で継続しているところで、それ以上の時間滞在している方もいるが、本の貸出を受けて

早々に帰られる方も多い。

会 長：予約や問合せは増えているか。

事務局：大きな変化はないように思える。

会 長：おはなし会の中止などはあるが、利用者の滞在時間や密にならないように気を配ることの対応に追われたり、職員の働き方に影響が出たりということはないか。

事務局：今回の緊急事態宣言において図書館としては特段変わらないが、公民館などの施設が夜間の利用中止となっていることもあり、図書館が午後7時ないし8時まで開館していることについて、遅くまで開館しているのかとの声をいただくことがある。職員の勤務は従前どおりだが、前回の緊急事態宣言では、休館して他課に応援に行くことがあった。

会 長：会議が増えたりはしていないか。

事務局：緊急事態宣言発出の直前に会議はあったが、増えてはいない。他市の図書館との情報交換は盛んに行っている。

会 長：他市で参考になることはあったか。

事務局：閉館時間を短縮した市はあったが、どこの市も大きな変化はなかったようである。

委 員：図書館職員は時差出勤などを行っているのか。

事務局：市役所勤務の職員は、平日の出勤を一部土曜、日曜に割当てたりして密にならないようにしているが、図書館の職員は元々勤務がずれていることが多く、密になることが少ないので市役所で行っているような対応は図書館では行っていない。

委 員：観光まちづくり協会ではガイドなどの際、定員制限などを行っているようなので、図書館はどうかと思い質問をした。

事務局：図書館は他の施設と比べ、来館者の会話は少ない施設なので、リスクとしては比較的低いものと考えている。

会 長：コロナ禍が早く終息し、子どもたちが図書館に来て、おはなし会などもできるようになることを願っている。早くに利用者に迎えて、良書を紹介していただければうれしい。

(2) 協議事項

特になし

(3) その他

委 員：図書館協議会も緊急事態宣言中は遠隔会議で行う方がよいのではないか。武蔵野市の図書館運営委員会は半年以上ズームで開催されている。東久留米市の図書

館協議会は、あらかじめ資料を送付し、意見を伺っておくなどして時間を短縮して行っている。

事務局：小平市の協議会等でもいくつか遠隔開催の取り組みをはじめている。実施にあたっては、テストを含めて皆様にも協力いただかないとならないかと思うので状況を見ながら相談させていただく。

会 長：図書館や市役所では、ノウハウはある程度蓄積されているのか。

事務局：ズームのイベントや会合などもあるので、少しずつではあるが蓄積されつつある。

会 長：この状況が延長される場合は検討をお願いしたい。